

(2) 熊本県内各圏域が抱える主要課題

県内の生活圏としての11の地域が目指す発展の方向を「地域ごとの振興計画」（熊本県総合計画）から地域の抱える主要課題として整理した。

熊本地域

県勢の更なる発展核と九州の中核拠点の形成

- ・ 熊本都市圏の交通円滑化を推進する。（公共交通機関の利用促進、道路網の整備、パーク&ライド⁽¹⁾）
- ・ 広域高速交通の結節拠点となる熊本駅周辺の整備による都市空間や交流拠点の形成、熊本港整備による物流機能の向上に取り組む。
- ・ 都市機能と人口集積地である地域の特性を生かした産業の振興に取り組む。（中心市街地商業の活性化、産・学・行政連携による新産業の創出、都市近郊型農業を展開する）
- ・ 豊富で良質な水と豊かな緑といった恵まれた自然環境を保全し、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進する。
- ・ 安全で快適な生活環境と良好な都市景観の創出に取り組む。

宇城地域

快適な暮らしができる活気あふれた誇りある地域の確立

- ・ 熊本都市圏に隣接している利点を生かし、地域に住む人が安心して、快適でゆとりのある生活を創り上げるための生活基盤整備を展開する。（熊本都市圏へのアクセス整備。医療・福祉などの充実に取り組み安心して暮らせる街づくり。）
- ・ 医療や福祉の充実による、安心して暮らせる街づくり
- ・ 自然や塚原古墳、霊台橋、三角西港といった歴史的遺産を活かした地域づくり。
- ・ 農林水産業の展開、商工業の育成、三角港などの観光基盤強化等により地域特性を生かした独自の産業の展開に取り組む。

荒尾・玉名地域

「職・住・遊・学」の機能を備えた県北の拠点都市地域の形成

- ・ 九州縦貫自動車道、九州新幹線を生かし、交通基盤の整備を進める。
- ・ 地域資源の有機的連携による観光振興（大規模レジャー施設、玉名温泉、菊池川流域の温泉地や歴史資源、有明海沿岸地域の観光地等をルート化。）
- ・ 江田船山古墳、小岱山等の地域の自然・歴史・文化を活用し、地域全体を博物館とみなした「あらたまエコミュージアムづくり」に努める。
- ・ 九州看護福祉大学を活用し、産・学・行政の連携強化による福祉先進地域づくりを目指す。

山鹿・鹿本地域

歴史浪漫息づく田園空間・産業づくり、菊池川からの創生

- ・ 菊池川にはぐくまれた流域の自然や歴史・文化遺産を生かし、地域内外の人々の交流促進を図る。（鞠智城跡の整備、田原坂等の史跡整備）
- ・ 菊池川流域にある温泉地を魅力あるものとし、連携を進める。
- ・ 住民が暮らしやすい生活環境の整備を進め、併せて企業立地の取り組みなど産業基盤の整備を推進する。

菊池地域

21世紀の交流・定住モデル地域の創造

- ・ 多様な農林業を推進するとともに、都市と農山村の交流・共生を図り、活気に満ちた農山村づくりを目指す。（短期滞在型のグリーン・ツーリズム^()の確立）
- ・ 定住の場づくりを推進する。（生活関連基盤の整備、保健・福祉・教育施策の展開、地域コミュニティの確立、中心市街地の活性化）
- ・ セミコンテクノパーク^()を核とした高度技術産業と新事業・新産業創出の拠点づくりや県立技術短期大学校を拠点として人材育成を目指す。

阿蘇地域

悠久の自然と文化が生きる自立した地域の確立

- ・ 特色を生かした活力ある地域産業づくり（阿蘇21農業・農村づくり、森林資源の活用と保全）
- ・ 阿蘇の雄大な自然や温泉などの観光資源や神話や歴史などの文化資源と地域の産物、食文化等を融合させた観光地づくりを進める。
- ・ 高齢社会を迎える中で、健康・医療・福祉の充実を図るとともに、地域住民相互が支えあう活動による安全・安心な社会づくりに取り組む。特に火山噴出物堆積の土石流災害や、崖地、地すべりなどの危険性が高い地域であることから地域防災体制の整備に取り組む。

上益城地域

人・自然・文化を結んだ心豊かな地域社会の形成

- ・ 農林業や自然、歴史、文化を通じ、都市に住む人にとって「より良い余暇」を過ごすことができる地域として、農林業を中心とした地域経済の活性化を図る。（棚田、石橋、清和文楽といった自然環境や歴史的遺産・伝統文化の保全・継承。農林業や自然、歴史に触れる保養基地形成。子ども体験学習基地の形成。）
- ・ 水と親しい定住圏の形成に向け都市と自然が調和した居住環境を整備する。
- ・ 熊本市近郊に位置し、インターチェンジ（益城熊本空港インターチェンジ、御船インターチェンジ）を有することで新たな流通拠点の形成を図り、また地場産業の競争力強化等により職住一体地域の実現を図る。

八代地域

活力に充ち、心安らく県南拠点地域の形成

- ・ 交通結節点（八代港、南九州西回り自動車道、九州縦貫自動車道、九州新幹線）の優位性を生かし、アジアをも目指した南九州の流通拠点づくりを目指す。
- ・ くまもと農業を代表する地域としての八代農業の推進を図る。
- ・ 多種多様な自然や歴史、文化遺産を生かして、地域内外の人々の余暇や癒し、学習に対する様々なニーズに応える県南拠点オアシスづくりを目指す。

水俣・芦北地域

環境先進地を目指す誇りある故郷の創造

- ・ 「循環」と「共生」の視点に立った社会循環システムを構築し、人と人、人と環境との「もやい直し」を進め、人と環境が共生する環境先進モデル地域として世界に発信していく。
- ・ 豊かな自然や美しい景観を守りながら、歴史、伝統文化などを活かして地域間交流の促進システムの形成を図る。（芦北七浦パークコースト構想⁽¹⁾の推進。中山間地域、過疎、高齢化等を踏まえた地域生活基盤の強化。）

人吉・球磨地域

21世紀相良文化の創造

- ・ 人吉・球磨地域の豊かな森林資源と豊富な水資源を有効に活用した農林業の振興を図る。（森林の郷の拠点づくり。球磨材ブランドづくり。森林とのふれあいの場整備。）
- ・ 豊かな自然や中世文化遺産等の歴史文化を保全・活用し、高速道路を活かした広域的な観光交流を促進する。
- ・ 中心市街地の活性化による圏域内交流を促進する。
- ・ 中小企業大学校人吉校の活用などを通じ人材交流を促進するとともに、若者定住のための取り組みを支援する。
- ・ 多様化・広域化する地域住民の行政ニーズに対応するため広域的な生活圏づくり、安心して暮らせる地域づくりを推進する

天草地域

美しい自然と陽光のもと、活力の創造と「天草」の風の発信

- ・ 天草のリーディング産業⁽¹⁾を観光産業と位置付け、主産業の一次産業と連携のとれた体験交流型の観光振興を図る。また滞在型の交流拠点整備に取り組む。
- ・ 地域の高齢者や都会から癒しを求めて訪れる高齢者が、健康で快適な生活がおくれるような社会づくりに努める。また天草の地域特性を生かした福祉産業の振興を図る。
- ・ 広域・連携による事業の推進を図る。

県内11地域

